

・「収支実績」については、エクセル様式では金銭出納簿の集計表をもとに自動作成されます。
 ・手書きの場合は、金銭出納簿の集計欄から当該年度の交付金の収入、支出実績を記入します。

多面的機能支払交付金に係る実施状況報告書

組織名称 ○○地域資源保全会

<令和○年度 収支実績 ○年○月○日現在>

項目	金額
1. 前年度からの持越金 (農地維持・資源向上(共同))	100,000円
2. 前年度からの持越金 (資源向上(長寿命化))	200,000円
3. 農地維持・資源向上(共同)交付金	2,654,500円
4. 資源向上(長寿命化)交付金	1,840,000円
5. 利子等	43円
合計	4,794,543円

・金銭出納簿の「1.農地維持・資源向上(共同)」の集計欄の1と2から転記します。

・金銭出納簿の「2.資源向上(長寿命化)」の集計欄の1と2から転記します。

・金銭出納簿の「1.農地維持・資源向上(共同)」と「2.資源向上(長寿命化)」両方の「3.利子等」の金額を合計して記入します。

項目	金額	備考
1. 支出総額 (農地維持・資源向上(共同))	2,648,000円	
日当	2,020,000円	
購入・リース費	500,000円	
外注費		
その他	128,000円	
2. 支出総額(資源向上(長寿命化))	2,039,360円	
日当	80,000円	
購入・リース費	315,360円	
外注費	1,644,000円	
その他		
3. 返還	1,640円	
4. 次年度への持越金 (農地維持・資源向上(共同))	105,543円	水路の草刈りに係る資材の購入(4月)
5. 次年度への持越金 (資源向上(長寿命化))		(持越金の使用予定(使用時期、使用内容)等を記入)

・金銭出納簿の「1.農地維持・資源向上(共同)」の集計欄の4~7及び8から転記します。

・金銭出納簿の「2.資源向上(長寿命化)」の集計欄の4~7から転記します。

持越金がある場合は、備考欄にその使用予定を具体的に記入してください。なお、持越金が当該年度交付金の3割を超え、かつ、100万円以上である場合は使用計画書を作成してください。

・金銭出納簿の「1.農地維持・資源向上(共同)」と「2.資源向上(長寿命化)」両方の「8.返還」の金額を合計して記入します。

手引き P48参照

「開催日」欄
当該年度の総会や運営委員会の開催日を記載してください。

1. 総会又は運営委員会の実施時期

下記のとおり、総会又は運営委員会を開催し構成員の了解を得ています。

開催日	○年○月○日
-----	--------

2. 組織の広域化・体制強化の状況

下記にあてはまる場合は○を記入してください。

広域活動組織	特定非営利活動法人

「実施」欄
・地域活動指針に定められた要件以上の取組を実施した活動項目に「○」、要件を満たせなかった場合や実施できなかった項目は「×」を記入します。
※ エクセル様式では一部を除き、活動記録をもとに自動作成されます（対象外の項目は「-」を記入します。）
※ 農地維持支払交付金の交付を受けずに活動を実施した場合も記入します。

3. 多面的機能支払交付金に係る事業の成果

「計画」欄
・活動計画に位置づけられた取組に「○」、それ以外は「-」を記入します。
※ エクセル様式では一部を除き、活動計画書をもとに自動作成されます。

「実施」欄に「×」を記入した場合は要件を満たせなかった理由や実施し

「備考」欄
・「実施」欄に「○」を記入した場合は、具体的な取組内容や研修実施日等を記入する。
・「実施」欄に「×」を記入した場合は、要件を満たせなかった理由や実施しなかった理由を記入する。

(1) 農地維持支払

農地維持支払交付金の交付を受けずに活動を実施した場合も記入してください。

活動項目		取組	計画	実施	備考
地域資源の基礎的な保全活動	点検・計画策定	1 点検	○	○	4/10 施設などの点検を実施
		2 年度活動計画の策定			4/19 研修は、活動を開始後の早い段階で実施します。
	研修	3 事務・組織運営等に関する研修、機械の安全使用に関する研修	-	-	6/2 R3年度に予定
		4 遊休農地発生防止のための保全管理	○	○	7/28 草刈りを実施 遊休農地解消面積 5 a
実践活動	農道	4 遊休農地発生防止のための保全管理	○	×	点検の結果遊休農地化のおそれのある農地が無かったため未実施 遊休農地解消面積 a
		10 農道の草刈り	○	○	6/8, 7/30に実施
		11 農道側溝の泥上げ	-	-	
	ため池	12 路面の維持	-	-	
13 ため池の草刈り				点検結果などに応じて実施する項目はエクセル様式を使う場合でも「計画」と「実施」の結果を手入力して下さい。	
共通	14 ため池の泥上げ	-	-		
	15 ため池附帯施設の保守管理	-	-		
	16 異常気象時の対応			○	× 異常気象発生せず

「実施」欄に「×」を記入した場合は、要件未達の取組となった理由又は実施しなかった理由を記入します。

活動項目	取組	計画	実施	備考	
				実施日	
地域資源の源の適切な推進活動の保全	17 農業者の検討会の開催	○	○	10/10	〇〇集落で検討会を実施
	18 農業者に対する意向調査、現地調査	-	-		
	19 不在村地主との連絡体制の整備等	○	○	1/28	関係農業者などによる検討会を実施
	20 集落外住民や地域住民との意見交換等	-	-		
	21 地域住民等に対する意向調査等	-	-		
	22 有識者等による研修会、検討会の開催	-	-		研修や地域資源の適切な保安全管理のための推進活動等を行った場合、実施日と具体的な実施内容を記入します。
	23 その他	-	-		

(2) 資源向上支払(共同)

資源向上支払交付金(共同)の交付を受けずに活動を実施した場合も記入してください。

活動項目		取組	計画	実施	備考
施設の軽微な補修	機能診断	24 農用地の機能診断	○	○	診断実施
		25 水路の機能診断	○	○	診断実施
		26 農道の機能診断	○		
		27 ため池の機能診断	-		
		28 年度活動計画の策定	○	○	4/19 総会にて議決
	研修	29 機能診断・補修技術等に関する研修	-	-	H32年度に予定
	実践活動	30 農用地の軽微な補修等	○	×	機能診断の結果、補修の必要がなかったため未実施
		31 水路の軽微な補修等	○	×	機能診断の結果、補修の必要がなかったため未実施
		32 農道の軽微な補修等	○	○	機能診断の結果より、一部の農道を補修
33 ため池の軽微な補修等		-	-		
農村環境保全活動	計画策定	34 生物多様性保全計画の策定	○		「実施」欄に「×」を記入した場合は、実施しなかった理由を記入します。
		35 水質保全計画、農地保全計画の策定	-		
		36 景観形成計画、生活環境保全計画の策定	○		
		37 水田貯留機能増進計画、地下水かん養活動計画の策定	-		
	38 資源循環計画の策定	-			
	実践活動	39 生物の生息状況の把握(生態系保全)	○	○	8月に〇〇小学校の児童と宇宮を兼ねて水路の生き物調査を実施
		46 施設等の定期的な巡回点検・清掃(景観形成・生活環境保全)	○	○	9月に〇〇クリーン作戦を実施
啓発・普及	51 啓発・普及活動	○	○	広報誌作成、HP更新	

活動区分	活動項目	計画	実施	備考
多面的機能の増進を図る活動	52 遊休農地の有効活用	○	○	地域住民との▲▲の作付
	53 鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化	-	-	
	54 地域住民による直営施工	-	-	
	55 防災・減災力の強化	○	○	△△ため池の管理体制の確認
	56 農村環境保全活動の幅広い展開	○	○	畦畔の嵩上げ
	57 やすらぎ・福祉及び教育機能の活用	○	○	福祉施設の利用者と植栽
	58 農村文化の伝承を通じた農村コミュニ	活動項目番号52～59の増進活動の取組に関する広報活動の実施状況を記入してください。		
	59 都道府県、市町村が特に認める活動			
	60 広報活動	○	○	広報誌作成
※以下は加算措置に取り組む場合のみ記入して				
加算措置				
農村協働力の深化に向けた活動への支援				
		○	○	実施日 「〇〇クリーン作戦」に85 9/3 名が参加した。

活動項目番号52～59の増進活動の取組に関する広報活動の実施状況を記入してください。

構成員の総人数の8割以上が参加する「実践活動」P.105の活動項目番号表の活動項目で「実践活動」と位置づけられている取組を実施したことがわかるよう該当する活動の実施日と参加人数、内容を記入します。

実践活動の参加者と構成員総人数がわかる資料(構成員一覧表など)を添付してください。

(3) 資源向上支払(長寿命化)

施設区分	活動項目	内容	延べ数量 (km,箇所)	完成数量 (km,箇所)			調査・設計等 のみ
				前年度まで	本年度	合計	
水路	61 水路の補修	水路〇〇-〇〇の老朽化部分の目地補修を行う	0.03 km	0.00 km	0.02 km	0.02 km	
水路	62 水路の更新等	土水路からコンクリート水路への更新	0.24 km	0.00 km	0.10 km	0.10 km	
農道	63 農道の補修	農道〇〇-〇〇の路肩及び法面の補修	1.54 km	0.00 km	0.00 km	0.00 km	
ため池	66 ため池(附帯施設)の更新等	ゲートの更新を行う	3.00 箇所	0.00 箇所	0.00 箇所	0.00 箇所	

当該年度に工事を行わず、調査や設計のみを行った場合は「○」を記入してください。

活動計画書に位置付けた数量のうち、本年度の完成数量を記入します(延長は小数点以下2位まで記入します)。

※延長の数量は小数点以下第2位まで記入してください。

下記にあてはまる場合は○を記入してください。

農地中間管理機構の借り受け

消費税に係る課税事業者の該当の有無

・計画内容などは活動計画書から転記して下さい。
 ・エクセル様式では活動計画書をもとに自動作成されます。
 ・活動計画書で行を追加した場合は、同じ行数となるよう行を追加してください。

本交付金の活動組織で該当するケースはほとんど無いと考えられますが、課税事業者には、市町村が定める様式で「仕入れに係る消費税等相当額報告書」の提出が必要となります。

当該年度を通じた認定農用地内における農地中間管理機構の借り受け農地の有無により判断して下さい。過年度からの継続保有地も含め、借受、保有、受渡をした全てが対象となります。